



2025年10月7日
東日本旅客鉄道株式会社

新幹線東京駅にホームドアを導入します

- JR東日本グループは、グループ経営ビジョン『勇翔2034』に掲げる「究極の安全」を追求し、すべての人に安心をお届けするため、2031年度末頃までに東京圏在来線の主要路線330駅758番線へのホームドア導入を目指しております。
- このたび、多くのお客さまにご利用いただいている新幹線東京駅に、安全レベルの向上を目的として、新幹線で世界初となる、ドア位置の異なる多くの編成に対応し、該当するホームドアを自動で開扉する新しい方式のホームドアを導入します。
- 今後、新幹線各駅のお客さまのご利用状況などを踏まえ、ホームドアの導入を推進していきます。

1. ホームドアを導入する目的

現在は、新幹線が通過するホームがある一部の駅の風圧対策として、ホームドアを設置しています。

今回、1日平均の乗車人員が7万人以上の新幹線東京駅の各ホーム(20番線・21番線・22番線・23番線)に、お客さまの列車との接触や線路への転落防止対策として、ホームドアを設置します。

2. 新幹線東京駅のホームドア使用開始時期（予定）

20番線・21番線の各ホーム・・・2028年度末

22番線・23番線の各ホーム・・・2029年度末

※使用開始日は、決まり次第あらためてお知らせします。

3. 今回導入するホームドアの特徴

- ・車両ドアの位置が異なる新幹線の編成^{※1}に対応したレイアウトのホームドアを設置します。【図1】

※1 E2系（10両）、E5系・H5系（10両）、E6系（7両）、E7系・W7系（12両）、E8系（7両）、E5系+E6系・E8系（17両）など



図1：新幹線東京駅 ホームドア設置イメージ

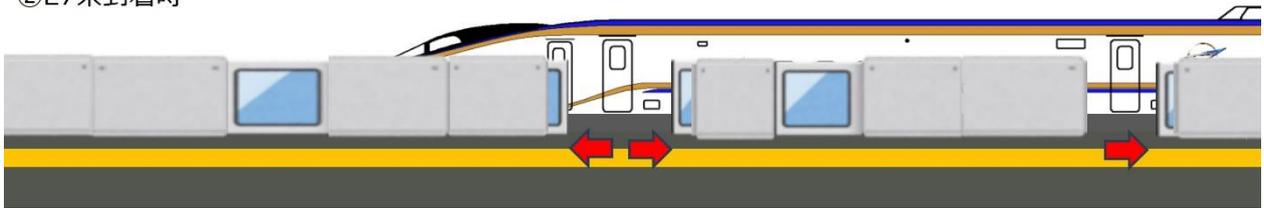
- ・ホームドアの使用開始に合わせて、駅に到着した編成の種類を判別し、自動で車両ドアの位置に応じたホームドアを開扉する機能を導入します。【図 2】
- ・編成を判別する仕組みとして QR コード^{※2} を利用した方式を開発中であり、今後検証試験等を行いながら導入に向けた検討を進めていきます。

※2 QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

①列車到着前



②E7系到着時



③E5系到着時

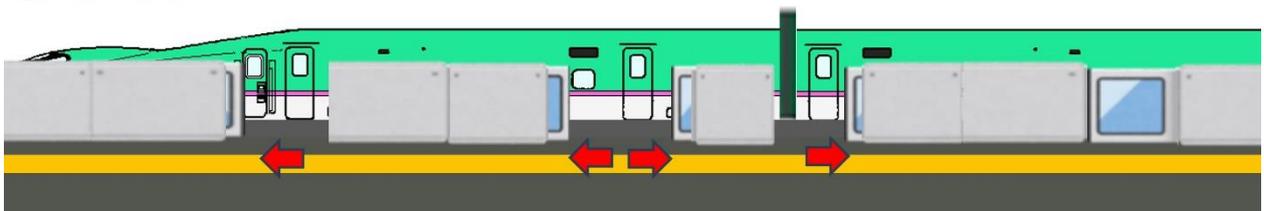


図 2：編成判別とホームドア自動開扉

- ・将来的に更なる安全性や安定性の向上を目指すため、車両ドアとホームドアが連携し、車両ドアの開閉に合わせて、自動でホームドアが開扉、閉扉する機能^{※3} の検討を進めていきます。

※3 現在の新幹線ホームドアの開閉は駅社員が行っています。

4. 今後のホームドア導入計画

駅における安全レベルの向上を目指し、新幹線の各駅へのホームドア導入を推進していきます。

【参考】

1. 新幹線東京駅に導入するホームドアの仕様

項目	新幹線東京駅ホームドア
開口数	49 開口/番線
開口幅	標準約 1,700 mm (最大約 6,040 mm)
外形寸法 (FL 基準)	筐体高さ : 約 1,350mm 扉部高さ : 約 1,200mm 下部隙間 : 約 150mm
主な安全機能	・居残り検知 (3次元エリアセンサ) ・戸当たり検知 ・引き込み検知 ・非常脱出ドア
その他	・扉部の一部をガラス化して視認性向上

2. 新幹線におけるホームドア整備状況

